

自 己 評 価 表

愛媛県立三崎高等学校

学校番号(39)

教育方針	生徒一人一人の個性を尊重し、ゆとりある伸び伸びとした学習活動を推進することにより、たくましく生きる力を育成する。	重点目標	1 進路満足度100%に向け、一人一人に応じた指導を徹底する 2 部活動と学校行事を充実させ、豊かな人間性を育てる 3 地域に根ざした学校づくりとボランティア活動を積極的に推進する 4 基本的な生活習慣を確立し、高い規範意識を育てる 5 人権意識を高め、いじめや差別のない社会の実現を目指す
------	--	------	---

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
学校経営	重点目標達成のための実践	本校の重点目標を理解し、その実現に向けて創意工夫をしながら実践に励む。	A	学校の魅力化に関する各種施策を行い、生徒、保護者、教職員が一体となって重点目標の達成に取り組んだ。	本校の更なる魅力化に向けて、あらゆる場面で、更に生徒、保護者、教職員が一体となって努力したい。
	地域と連携した教育活動の充実	地域と連携した教育活動を行う。	A	学校行事、総合学習、部活動、各種地域行事などを通じ、保・小・中・高並びに地域との連携強化を行った。	地域おこしをはじめ、将来ブーメラン人材になれる生徒の育成を目指す。
	危機管理体制の充実	本校の危機管理マニュアルに基づいた活動を行う。	B	校内及び地域の各種防災訓練を通じ危機管理体制の確認を行った。危機管理マニュアルの実効性向上が不十分である。	原子力防災をはじめ、防災訓練の質の向上を図ると共に、危機管理マニュアルの一部見直しと改善が引き続き必要である。
学習指導	家庭学習の充実	高い目的意識と主体的な家庭学習習慣を身に付けさせ、平均家庭学習時間150分以上を達成する。	B	平常時の平均時間は125分であり、目標を達成することができなかった。	参考書等を用いて自分で学習する意識を向上させる仕掛けが必要である。また、家庭学習習慣が身に付いていない生徒に対して学習方法から指導していく必要がある。
	教科指導の充実	積極的に研修を行うことで教員の指導力向上を計り、生徒の授業評価ポイント4.0以上を目指す。	A	全校生徒に対し授業評価アンケートを実施して、全ての教員が4.0以上をクリアしていた。	引き続き、生徒からの評価をもとに授業内容を改善し、分かりやすい授業を心掛けるとともに、相互の授業参観の回数を増やしたい。
		漢検2級取得者5人、実用英検2級取得者2人、商業資格検定1級取得者6名(うち3種目以上1級取得者2名)を目指す。	B	漢検2級5人、英検2級2人、商業資格検定1級9人(うち3種目以上1級取得者0名)	検定の合格に向けて計画的に勉強したり、継続した勉強を続けていったりできるような力を身に付けさせたい。
生徒指導	生活指導の充実	身だしなみ指導を毎月1回実施し、毎回不合格者0を目指す。	B	2/22現在、11回中1回のみ全数の合格であった。毎回3名程度の不合格者があり意識の徹底ができなかった。	手帳の活用や告知、生徒の規範意識など様々な手法を用い意識の高揚を図る。
	交通安全指導の充実	毎月1回交通安全指導日を設け、通学路の交通指導を行う。ヘルメットの確実な着用を呼びかけ、自転車・原付通学生の無事故・無違反を目指す。	A	事故・違反は0であった。	引き続き、啓発活動を行っていく。
	奉仕の精神を養う教育の充実	地域に貢献する奉仕活動を1回、校内の環境美化意識を高める奉仕活動を2回実施する。	A	定めた回数を行い、実施状況も良好であった。	引き続き、実施前の美化意識の高揚を図っていく。
	主体性を育てる教育の充実	各クラスにおいて、各種専門委員を1人2役経験させる。	A	少ないクラス人数のため、必然的に多種・多岐に渡る仕事を経験できた。	担任の配慮や生徒への意識高揚を継続していく。

進路指導	キャリア教育の充実	社会人やキャリアコンサルタントによる講演会を年3回以上実施する。	A	進路に関する講演会等を計8回、保護者のための進路講演会を1回実施した。	年間行事として定着してきたものもあり、引き続き積極的に社会人等の活用を推進したい。
	多様な進路希望に応じた指導の充実	進路課通信を年15回以上発行し、進路に対する意識の向上を図る。	B	進路課通信を2月19日現在で11号発行している。(昨年同様ではカウントで31号)しかし内容が必ずしも進路に対する意識高揚につながるものとは言えなかった。	次年度以降、生徒を巻き込むことで、更なる内容の充実を図りたい。
		進路満足度100%を達成する。	B	進路満足度は2月24日現在97%であった。進路目標を定めきれず、最後まで迷いがあった生徒もいた様子だった。	引き続き、教員全員で生徒の進路指導に当たりたい。また、生徒が明確な進路目標が持てるよう面談等を充実させたい。
人権教育	人権学習の充実	人権・同和教育HRの年3回実施や年1回以上の人権講演会を通して、人権意識の高揚を図る。	A	人権・同和教育HRは年間計画に沿って3回実施済み。人権講演会は1回実施した。	HR活動の指導計画を見直し、実践力の育成を目指した学習になるよう努めたい。
		人権だよりを年6回以上発行し、人権委員会を中心とした生徒主体の啓発活動を充実させる。	B	人権だよりを2回発行した。生徒主体の啓発活動はやや不十分であった。	委員会の活動紹介の機会を増やし、全校に活動を広める工夫をしたい。人権だよりの発行は毎学期1回以上にしたい。
	情報モラル教育の充実	授業や講演会などを通して携帯電話やネットの適切な利用法を理解させ、他者の人権を尊重する態度を育てる。	A	授業や非行防止教室を通して、携帯電話やネットの適切な利用法を理解させた。	情報モラルについて学ぶ機会を定期的に設けたい。
	異文化理解の充実	国際交流会等を通して異文化への関心を高め、異文化を尊重する態度を育てる。	A	高校生国際協力実体験プログラム参加、国際協力に関するエッセイコンテスト、教師海外研修とその報告、異文化理解講演会(1年生)などを実施した。	生徒の主体的な活動を促す継続的な取り組みを展開したい。
現職教育	研修の充実	校内研修を年5回実施するとともに、校外研修の活用や研修報告を通して、資質向上を図る。	A	校内研修や校外研修の報告会を13回実施した。	学校の実態や教員のニーズに合った研修になるように努めたい。
		年5回以上の研究授業や公開授業時のアンケート・教員相互の授業参観等を、授業改善に役立てる。	B	研究授業を4回実施した。教員相互の授業参観等を授業改善に役立てる点においては、改善の余地がある。	教員相互の授業研修をより活発に行えるよう工夫したい。
保健・安全管理	保健活動の充実	毎月1回、生徒の健康課題に沿った「保健だより」を発行する。また、ホームページにも掲載し、健康に関する情報発信を行う。	B	毎月保健だよりを発行することができた。また保健委員が発行に合わせて校内放送を実施するなど、生徒の健康意識向上の啓発活動はできたが、ホームページ掲載ができなかった。	保健委員の責任感を育成し、委員会活動を主体的なものにしていくために、校内放送や掲示物の作成を通して活動を充実させたい。また、情報発信により全校生徒の健康行動を高めることへつなげ、活動の様子などを掲載した保健だよりをホームページにも掲載していきたい。
		生徒に対し、専門家による健康に関する講話(食育、食品衛生各1回)を開催する。	A	6月に伊方町食育推進事業として食育講話、10月に食品衛生講話を実施した。	伊方町や関係機関と連携し、「食」に対する意識向上に努めたい。
	衛生管理の徹底	毎月1回衛生委員会を開催する。	A	教職員健康管理医に出席していただき、毎月実施した。	今後も教職員健康管理医から指導・助言をいただきながら、安全衛生管理に努めたい。
		職員に対し、学校健康管理医による講話を1回開催する。	A	7月に職員健康管理医による講話(狭心症と心筋梗塞)を開催した。	講話を通じて健康相談につなげ、健康管理の知識・意識の向上に努めたい。
	安全管理の徹底	毎学期1回安全点検を実施する。	A	破損・危険箇所の早期発見を行い、事務課と協議し措置内容を検討し対応した。	日頃から管理責任場所の目視・点検を徹底し、安全な学校環境づくりに努めたい。

図書活動	図書活動の充実	朝の読書の質の向上を目指すとともに、ブックトークなどを通じて読書に対する意識を向上させる。	A	「朝の読書」を継続している。ブックトークは2回実施した。	「朝の読書」を継続し、ブックトークの実施を増やすなど、読書に対する意識を向上させたい。
		図書委員会で「図書館だより」を毎学期1回以上発行し、図書館活動を生徒・保護者に啓発する。	A	毎学期1回発行した。	図書委員会の活動を更に活発にし、図書館だよりの内容を充実させたい。
		図書館来館者数延べ1000人、年間一人あたりの貸出数3冊以上を目指す。	A	図書館来館者数延べ681人、貸出数393冊、一人あたり貸出数4.0冊であった。	新刊書の購入などにより、図書館の充実を図り、読書に対する意欲を高めたい。
PTA活動	PTA活動の充実	ホームページや「PTA便り」を通して、旬な情報を伝え、学校行事への積極的参加を促す。	B	月遅れでの発行があり、行事予定の保護者への伝達が不十分であった。	作成依頼を確実にし、毎月予定日に発行する。各行事において、保護者の周知を徹底する。
		PTA総会の出席率50%以上を目指す。	A	出席率55.9%（93家庭中52名）であり、保護者の参加意識は高く、概ね達成できていると考える。	今後、遠方の保護者の増加が考えられるため、関係書類の作成時期を早くする。
事務	教育行政職員としての適切な業務の遂行	経費の節減に努め、予算の有効活用をする。 迅速かつ適正な事務処理をする。	B	予算の執行、事務処理とも適正な処理ができた。一方、もう少し迅速な処理をするために工夫と改善が必要である。	効率的な予算執行、適正な事務処理をより迅速に進めたい。
	校内の安全管理	校内の修繕箇所の早期発見、早期対応をする。樹木の適切な管理をする。	A	修繕箇所や校内整備には、予算の確保に努め、積極的な改善に取り組んだ。	引き続き、早期発見と迅速な対応をする。のり面修繕工事が予定されているため、安全管理に努めたい。